

# 平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【女子第1回戦】 第1日目 Cコート 第4試合

チームA <b>東京成徳大学</b> 東京	<b>105</b>	22 1Q 10	<b>59</b>	チームB <b>県立大宮東</b> 埼玉
		41 2Q 11		
		20 3Q 15		
		22 4Q 23		
		OT		

## 東京成徳大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	本田 雅衣	12	1	1	4	6	4	5	2	7	4	3	4		20	
5	光山 慈能	13	1	2	4	8	2	2	1	2	3		3		20	
6	天野 佳代子	12			5	10	2	2		1	6	1	1	2	20	
7	間宮 佑圭	13			6	8	1	1	2	2	4	2	2	1	20	
8	富田 夕貴	4	1	1	3	1	4				1	3	3		20	
9	片山 浅美	2		3	1	4			1	2	6	1	2	1	20	
10	田尻 泰葉	12			5	8	2	4	3	2	3	1		1	15	
11	工藤 安沙子				1					1			1		5	
12	岡元 真由子	2			1	3				1	2				9	
13	水野 圭子	17			8	12	1	2		1	7	6	6	1	20	
14	宮崎 優子	13			6	8	1	2	2		3	3	2		20	
15	岡本 明子														3	
16	高橋 美穂			1											1	
17	野間 星来	2			2	2	2								4	
18	金子 知佳	3	1	1	1						2				3	
コーチ	下坂 須美子															
		105	3	9	40	74	16	24	11	8	32	33	15	19	6	200
		確率	33.3%	54.1%	66.7%					計	40					

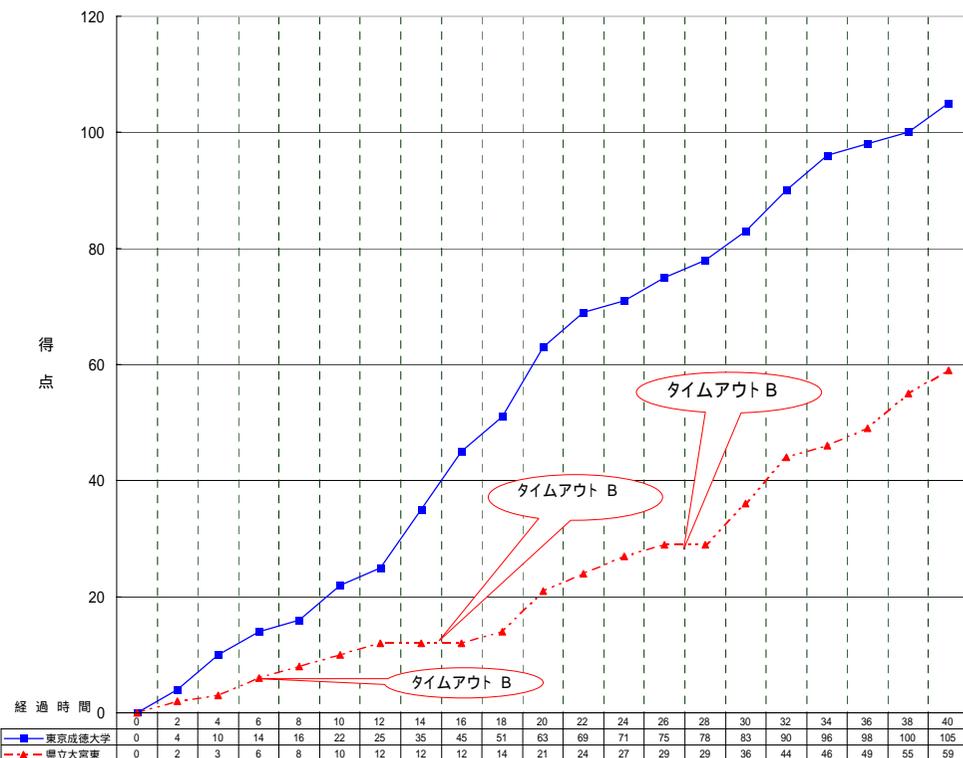
## 県立大宮東

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	足立 優希乃	2		2	1	7			5	1	4	1			38	
5	松本 南	27	5	12	6	14			4	1	1	4	5		35	
6	富永 景子	9			3	11	3	5	4	1	1	4	1	2	27	
7	荒井 友美	6		4	3	10		2	2	1	2	4	2		32	
8	大迫 由佳					6			1	1	1	2	1		17	
9	照屋 智美	8		2	4	9		2	4	1	2	3		1	19	
10	土館 里沙	7	1	10	2	8			3			1	5	1	31	
11	山田 未緒											1			1	
12	長嶋 恵美														DNP	
13	田代 芭華														DNP	
14	若生 恵美														DNP	
15	佐藤 静香														DNP	
16	山本 実穂														DNP	
17	園部 遥														DNP	
18	本間 来美														DNP	
コーチ	中村 敬子															
		59	6	30	19	65	3	9	23	6	7	23	15	4	1	200
		確率	20.0%	29.2%	33.3%					計	13					

スターティングメンバー

出場選手

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでゲームスタート。東京成徳は高さを生かし、インサイドを中心に攻める。対する大宮東は、オフェンスリバウンドを積極的に取りに行く展開となる。東京成徳は#7間宮などの連続得点により、開始4分を過ぎた所で10-3とリードする。さらに、東京成徳は速攻でも得点を重ねる。大宮東は、#5松本の3Pでくらいつこうとするが、成徳の高さのあるディフェンスに阻まれ苦しいシュートになり、得点することができず22-10の東京成徳リードで終了する。

第2Pに入り、両チームともシュートが入らず流れをつかめない展開となる。しかし、開始4分を過ぎた所で東京成徳#4本田の速攻やミドルシュートをきっかけに、37-12と一気に差を広げ東京成徳がリードする。そこで大宮東は、タイムアウト。しかし、流れは変わらず、東京成徳#7間宮の得点でさらに差を広げ、63-21で前半を終了する。

第3P、東京成徳はメンバーを全て替えてスタート。それでも東京成徳は、#10田尻や#13水野の高さを生かしてリバウンドを取り、着実に得点を重ねる。

第4Pに入って大宮東も得点を重ねたが、東京成徳の得点は止まらず、危なげなく勝利を収めた。

主審 藤田 伸一(茨城)

副審 井上 直美(茨城)

記入者 水貝 保